

スポーツ吹矢の支部発足



日本スポーツ吹矢協会赤穂支部の設立記念大会が4日、加里屋中洲の赤穂地区体育館であり、近隣支部を含めて24人が競技を通して交流した。

長さ1・2呎の筒に息を吹き込んで5〜10呎先の的へ目がけて矢を放ち、得点を競うユニースポーツ。矢を吹

き飛ばす際の呼吸法が健康にも良いとして全国に広がり、兵庫県内では約1500人の愛好者があるという。

赤穂では昨年4月にスポーツ吹矢教室が始まり、メンバー5人が今年2月に2段に昇段。支部設立の機運が高まった。支部は県下24カ所目で、この日は

加古川、備前、瀬戸内などからも集まった。

支部の正式名称は「よしてつけえ赤穂支部」。△会員増を目指し、「仲間に入れて」の意味の赤穂弁を冠した。支部長に就任した小林正典さん(60)は有年横尾は「子どもから高齢者まで和気あいあいと楽しめます。赤穂支部の設立を機会に西播地区に拡げていきたい」と普及振興に意欲的だった。

同支部は毎週月曜の午前10時〜正午、第1・3日曜の午後1時半〜5時に同体育館で練習している。体験についての問い合わせは42・3211(ふれあいスポーツ赤穂)。

大会結果は次のとおり。▽男子①毛利薫(備前オリーブ)②山本光(同)③樽井正夫(備前日生)▽女子①中村活子(よしてつけえ赤穂)②黒島通子(赤磐桜ヶ丘)③穂本初枝(よしてつけえ赤穂)(写真は赤穂支部の設立を記念して開かれたスポーツ吹矢大会)